



希望は平和の祈りから

石原艶子



イラスト：大城旋律（孫）

主よ、わたしをあなたの平和のために用いてください。
憎しみのあるところに愛を、争いのあるところに和解を、
分裂のあるところに一致を、疑いのあるところに真実を、
絶望のあるところに希望を、悲しみのあるところによろこびを、
暗闇のあるところに光をもたらすことができますように助け導いて
ください。

主よ、わたしに慰められるよりも慰めることを、理解されるよりも理解することを、愛されるよりも愛す
ることを望ませてください。

わたしたちは与えることによって与えられ、すすんで赦すことによって赦され、人のために死ぬことによ
って永遠に生きることができるからです。

（2011年から普天間基地野嵩ゲート前でゴスペルを歌う会は、まずこの祈りをもって始ります。14年
間、毎週月曜日夕方6時から歌い続け、祈り続けています。私共二人9年間通い続けました。恵みの時で
した。）

○初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は
言によって成った。成ったもので言によらずに成ったものは何一つなかった。言の内に命があった。命は
人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。

（新約聖書 ヨハネ伝1章1～5）

2025年が過ぎ去ろうとしている今、静かに止まって言葉に心を傾け、静まって聞いてみたいと思いま
した。

○海はひとの母、海と大地と共同の力。 沖縄の住民運動にリーダーはいらない。ひとりひとりの闘い、
ひとりひとりが代表なのだ。 （安里清信）

○与えられた場で、自分はどんな態度をとっているだろうか？どんな決断をするのか、そこには常に自由
があり、この自由は死の直前まで人間から決して奪うことは出来ない。 （フランクル）

○外に媚び、内を脅かす者は天下の賊である。 （吉田松陰）

○一体、日本を戦争の泥沼に引き込み、破局に至らせたのは誰であったのか？それはまさに無責任の体系
と呼ばれるモンスターという他はない。 （内坂晃）

○新自由主義経済とは言い換えると今だけ、金だけ、自分だけの経済学と同義である（すずきのぶひろ）

○自分のいる所にじっととどまって掘り続ける、そういうことで真理が見えてくるのでしょうか。もし真
理と言うものがあれば、それは地下水みたいなものです。どこを掘っても出てくる。 （中村哲）

○どんなことをされてもやり返さない。対話を諦めない。そこにしか平和は来ないと私は確信します。

(中村哲)

○本当の安全保障とは —— 「敵を友とすること」（ユダヤ教の教え）

○逆転しない正義とは献身と愛だ。目の前で餓死しそうな人がいるとすればその人に一片のパンを与えること。（あんぱんマン）

○戦後の日本が生み出した思想は現代の危機を救う重要な思想、憲法9条こそが戦後日本の最大の宝である。人類不滅の真理、正義は憲法9条にある。（つや子）

○ますます加速する戦争への流れを止められるのは「今」「私たち」しかありません（市民意見広告）

○ウクライナ戦争はロシアの弱体化とヨーロッパの弱体化が同時に成し遂げられる。ネオコンにとってこれほどおいしい話はなかったのではないか。ロシアの資源とヨーロッパの産業の結合は米国にとって悪夢であった。それを離間し、しかも武器を売って儲けることも出来るのだから。（岡本厚）

○沖縄戦の教訓とは何か、いかなる大義も命に勝る価値はない。命どう宝 —— 決してどんなことがあっても決して戦争はしないという決意、覚悟の言葉である。（岡本厚）

———— • ————— • ————— • ————— • ————— • ————— • ————— • —————

○列挙したこれらの言葉を深くかみしめ、地球規模で人類という視点に立って、人類はどこに向っているのかという未来的視点で世界の出来事を見ていくことが大切だと思う。すべては人間が作り出している現象なのだから。人間に問題があり、人間が答を出していくしかないのである。トランプ大統領の行動の原理は何か、国民への愛はどこにあるのか、トランプさんにとって日本、ましてや沖縄のことなどどうでもいいこと、ただ自分に都合よく利用したいだけだと思う。こんなトランプさんのご機嫌を取って従順、忖度までしてアメリカに隸属する日本の政治家たちが目指す未来は一体何なのだろうか。

○日本はどこに向かうのか —— 世界は経済を中心に動いている。自国第一主義、自国の経済力を高め、国力の強さを競う国と国、その経済は軍需産業により成り立つ死の商人の国である。武器を売るためには常に戦争を起こさせ、戦争への空気を醸成し、煽りに煽り戦争準備へとけり立てるのだ。日本はアメリカに隸属し、オスプレイなど不要な武器を爆買いして、軍事大国への道を突き進んでいる。軍事費はGDPの3%へと拡大の一途、後世の人々を苦しめる借金大国へと、国民は物価高の中、生活苦にあえいでいる。医療、福祉、教育などの現場は赤字拡大、大病院も倒産、国民生活は搖らぎ苦しみあえぎ、不安におおわれている。

戦争準備はやめて、苦しみあえいでいる国民を助け守ることが今、政治がすべきことです。高市総理の台湾有事は日本有事との発言は、一国の総理として全く軽率、無責任であり取り返しのつかない言葉となりました。中国の怒りを買いつける日中関係は一機に悪化、殆どの民間交流は中止、海産物輸入停止、クルーズ船中止、航空便の多くが中止などなど、大変な状況になりました。

これらのことでの最も被害を受け、苦しむのは漁業者、観光業者をはじめとする多くの中小事業者です。また日本経済にとっても大きなマイナスとなります。総理のうっかり一言がこれだけの国難、苦難を国民にもたらしているというのに何故、高市総理は国民に対して謝罪をしないのか、思いやりがないのか、私は納得できません。

国民のために働いて働いて働いてと勇ましく強くと言うのでしたら、国民への人間らしい暖かい思いやりの言葉をこそ言ってほしいと思います。「あなたの一言によって一体どれだけの国民が影響を受け苦しんでいる事か、考えてみて下さい」と言いたいです。

○**台湾有事とは**——「中国脅威論」はアメリカがウクライナ戦争を裏で画策した様に、中国の弱体化をねらって戦争への危機をあおることで同盟国の軍事力強化をはかり、アメリカの軍需産業を潤したいからです。アメリカはどこまでも経済優先国益第一なのです。中国脅威論と抑止力という言葉に私たちはだまされてはいけないです。国民の多くがそんな政府の言葉にだまされて、軍事力拡大への抗議もせずに高市政権を支持しているのは、本当に愚かなこと情けないです。一刻も早く、冷静になって中国との平和的互恵関係を再構築するために民間も含めてみんなで努力しなくては大変なことになります。

○**中国と沖縄**——沖縄に来たら中国文化を体感するものが沢山あります。首里城、シーサー、龍柱、墓地、組踊などなど。那覇市若狭海浜公園に立つ龍柱は中国福州市が1981年の友好都市締結2011年で30周年を迎えて、今後の両市の友好交流を記念して建立されました。

中国式庭園、福州園——中国福建省福州市と那覇市の友好都市締結10周年と那覇市制70周年を記念して1992年に完成しました。福州の素材を使い福州式庭園を再現しており、中に入ると本当に中国に来た感覚になります。

中国との長い文化交流の歴史を築いてきた沖縄を今、中国が戦場にすることなど中国は絶対に考えないでしょう。アメリカによって作り出された「中国脅威論」それによって軍拡に突き進む日本の前途は国民の生活を増え苦しめ国は衰退していくでしょう。今こそ、報道に振り回されず冷静に真実を見きわめ、憲法9条を死守、子供達に憲法9条を教え、平和への道を全力で築いていきましょう。今こそが分岐点だと思います。

○**沖縄の私達**

辺野古新基地反対闘争の現場から工事は全く計画通りに進んでいません。3カ月も中断しています。7万1千本の砂杭を打ち込むことになっていますが2900本にとどまっています。今後も気象条件や海面下70メートルまで打ち込む難工事は砂杭の打設だけで12年以上かかると専門家は指摘しており埋め立ては不可能です。普天間飛行場は一体いつまでこのままなのですか。住民は日々爆音に苦しみ続けています。私達は非暴力で座り込み抗議行動を続けます。

○**安和での死傷事故**——被害者を加害者にすり替え反対運動つぶし、新基地建設を強行する防衛局の策略を許すことは出来ません、○さんと共に「重過失致死罪適用」取り下げと事故の真相を暴く「民事賠償請求訴訟」を支援し、頑張っています。

○**宮城島、辺野古への土砂搬出に抗議し、ムカデ歩き続行で頑張っています。**天候不順が続き2週間中止になりました、冬は海が荒れるため運搬船が出航出来なかつたりして辺野古埋め立ては誰が見ても困難をきわめています。一日も早く中止すべきです。

○**辺野古、安和、塩川、宮城島、嘉手納基地ゲート前、県庁前など、事件事故に応じてのさまざまな抗議活動、また講演会などの学びなど、自由な行動が毎日のように行われています。**すごい民衆の心の結集です。若者達も増えてきています。

○うるま市民の闘い ——うるま市川田地区住民によるボートレース場外券売場（ボートレースチケットショップ）建設反対闘争。——住民は「建設反対川田有志の会」を結成して700筆を超える反対署名を市に提出しました。11月には建設計画の賛否を問う区民投票が実施され反対多数となりました。（反対147、賛成112、無効5）反対の理由は、◎治安悪化 ◎地域の分断 ◎ギャンブル依存症 ◎子供の教育への悪影響 ◎渋滞 ◎観光客減少 ◎情報の不透明さなど。市議会も反対決議をしました。◎住民の知らないところで公民館建設費用の援助などを条件に建設計画を推進していた不透明さも問題になりました。有権者451名の小さな川田地区でこれだけの闘いが出来たことに私たちはビックリ!!感動しました。そしてとても大きな励ましと希望を与えられました。お一人お一人が生活を犠牲にして足を棒にして一人一人と丁寧に熱心に対話をして住民に呼びかけ、他人事でない自分事として住民が自覚めていたことは、反対運動に命を懸けた友人たち一人一人の労苦と愛あってのことだと思いました。反対が勝利し、中止となって安堵した友人はげっそりと瘦せられて、その御労苦を思い私は胸がいっぱいになりました。そしてひとりひとりが頑張って自分事として受け止める心の輪を広げていけば、沖縄の多くの問題も変えられるのだと大きな希望を与えられました。”川田有志の会”的お一人お一人、本当にありがとうございました。本当に良かったですね。お疲れ様でした。ギャンブルで潤っても嬉しくない!!基地で潤つても嬉しくない。お金に魂を売ることは出来ません!!

沖縄の人々が愛するこの歌をお届けして心ひとつに平和を祈りたいと思います。

黄金の花（1994年 ネーネーズの曲）

黄金の花が咲くという 噂で夢を描いたの 家族を故郷、故郷に 置いて泣き泣き、出てきたの
素朴で純情な人達よ きれいな目をした人達よ 黄金でその目を汚さないで 黄金の花はいつか散る
楽しく仕事をしてますか 寿司や納豆を食べてますか
病気のお金はありますか 悪い人には気を付けて
素朴で純情な人達よ 言葉の違う人達よ 黄金で心を汚さないで 黄金の花はいつか散る
あなたの生まれたその国に どんな花が咲きますか 神が与えた宝物 それはお金じゃないはずよ
素朴で純情な人達よ 本当の花を咲かせてね 黄金で心を捨てないで 黄金の花はいつか散る
黄金で心を捨てないで 本当の花を咲かせてよ

《あとがき》

夫の昌武さんがパーキンソン病末期症状、要介護3となり老々介護生活の中、もう月桃通信を書けない日々でしたが、不思議な力が臨み自然体で書くことが出来ました。現場に出られない中にあっても言葉が与えられたことを感謝し、与えられるままこれからも生かされる時を感謝して参りたいと思います。きっとまた2026年も書かせて頂けることを祈りつつ、いつも沖縄の為にお励まし下さる皆様に感謝申し上げます。

《あみの会》 —— 山田博子さんと仲間の皆さんのが作品作りに頑張っております。少しでも現場で闘う皆さんの支援に役立てたいと思います。糸を提供して下さる方は下記の石原まで御連絡下さい。

〈連絡先〉 〒904-1115 うるま市石川伊波 1180-5 石原つや子

自宅：098-964-3237 携帯：090-4471-1942 Email: yuuwanoie@gmail.com

〈振込先〉 ゆうちょ銀行 記号：12260 番号：12650271 イシハラツヤコ